

神戸ポートアイランド視察ツアー 学生レポート

訪問日時:2015年5月2日 午後2時から5時

参加者:大阪大学赤井伸郎ゼミ17名(2・3・4年)+引率教員3名



赤井伸郎ゼミの授業の現場編として、神戸ポートアイランド視察ツアーに参加した。

視察内容(90分)

- ① キメックセンタービル(30分)
- ② PC16(50分)
- ③ ラヴィマーナ(45分)
- ④ 神戸空港消防庁舎(30分)

本年は、ゼミツアーとして、神戸のポートアイランド2期の施設を見学した。まず、キメックセンタービルより、ポートアイランド2期に進出する様々な企業の様子を見ながら、解説を聞き、医療を中心とした集積の実態を学んだ。その後、コンテナターミナルで、実際にコンテナが世界に運ばれる様子および、そのコントロール現場を見学した。物量で見れば、海外との貿易のほとんどが、みなと経由である。今後も、いかに効率的に荷物を運ぶかが問われ続けるであろう。その後、神戸空港島に作られた結婚式場(ラヴィマーナ)を視察し休憩をした後、神戸空港の消防庁舎で、航空機の消火のために専用で作られた消防車を見学した。今回は、経済を支える、さまざまな施設や車両を見学した。この見学は、社会を知る良い機会になったと思われる。実施後のアンケートでは、参加学生全員が大満足との回答をした。以下に、学生の感想をまとめる。

| 学生番号 | 今回の神戸ポートアイランドツアーに参加しての満足度【5…大満足、4…「満足」、3…「普通」、2「やや不満足」、1「不満足」】および感じたこと、学んだこと(7行以上):満足度評価の理由も交えて、場所別に書いてもらえると嬉しいです。 | |
|------|--|--|
| 1 | 5 | キメックセンタービルに関しては、医療産業都市としての神戸の発展状況を観察できた。先端医療や再生医療の研究が行われているエリアがあり、そこから最先端の研究をすることにより神戸市を活性化させるということがわかった。PC16はコンテナターミナルとしての働きを担っており、コンピュータを使った管理にてコンテナ運搬の状況(船への運搬など)を全てコントロールしている様子を見ることができた。船舶の断面図が表示されていてそこにどのコンテナが運び込まれるという流れが人の手作業によって全て集中管理が行われていることを初めて知った。ラヴィマーナでは海の見える開放的な空間でお茶を楽しみ、また式場も見学できた。結婚という現実的なことも考えさせられた。神戸空港ターミナルでは空港用の消防車や飛行機着陸の施設を見学した。飛行機で火災や緊急事態が起きた時に飛行機全体に対して放水できるように、1分間に6000リットルも放水できる機能があるということを知り、その消防車の規模の大きさに驚いた。また医療搬送車に関しては、緊急時に患者を重軽傷レベルで色分けして、機材を搬入するなどして治療にあたる機能をもっていることを知った。神戸港や神戸空港の全体的な整備のあり方を学ぶことができた気がする。 |
| 2 | 5 | キメックセンターでは、ポートアイランドの現状を知ることができた。医療産業の集積については、以前に聞いたことがあったが、神戸市内では航空機産業についても集積が行われていることを知って驚いた。PC16ではコンテナの積み下ろしや運搬を間近で見学することができた。ここから世界へ貨物が運ばれていくのかと、港湾の規模感の大きさを実感することができた。ラヴィマーナでは、おいしいお茶と式場の美しさを楽しむことができた。神戸空港では、エプロンから間近で離陸を見ることができてとても楽しかった。消防車にも試乗させてもらって、空港での安全はこのように確保されているのだなと実感することができた。 |
| 3 | 5 | お昼の食堂が安くておいしかった。コスパが良かったので来年も利用したいと思った。キメックセンターでは、医療研究に特化した地区を一望でき、集積の進捗状況や抱える問題などを知ることができた。PC16では、超至近距離で運ばれてきたコンテナやクレーンを見ることができ、感動した。実際の制御室も見学させていただいたが、すべてがコンピュータ管理され、コンテナの位置などがGPSで把握されているということを知り、大きな学びを得た。そんな中コンテナの荷卸しなどの計画はすべて人間がやっていることにも驚いた。ラヴィマーナでは、休憩だけでなく式場内も見学させていただき、貴重な経験となった。最後に訪れた神戸空港では実際に滑走路内にお邪魔させていただくことができ、消防の取り組みや飛行機の飛び姿の見学ができたことで、空港に対し興味関心を深めることができた。 |
| 4 | 5 | 1・キメックセンター 神戸が医療をポートアイランドに集中させていることを学べた。今まで、ポートアイランドをそのような視点で見たことがなかったので、新鮮であった。一方で、神戸市の中心から近いものも交通の便がいいのか疑問に感じ、また地震などの災害が発生した場合の被害が大きいのではないかと少し思った。2・PC16 午前中の海からコンテナを見る体験のあとに、実際に働いている方の視点でコンテナがどのように動かされているのか見ることができ、純粋に楽しく感動した。しかし、夜間も通じてコンテナの仕事はあると聞いたので、働いている人の労働環境が不安にもなった。3・ラヴィマーナ 結婚式場をじっくり見るのは初めの経験だったので、有意義だった。結婚しても披露宴をしたいとあまり感じたことはなかったが、実際に結婚式場を見て、披露宴をするのも素敵だなと思うことができた。4・神戸空港 空港の中に入って間近で飛行機を見、また普段は意識しなかった空港の火災対策を学ぶことができたことは、めったにない体験だった。 |
| 5 | 5 | 全体的に、予想を上回る豪華なツアーで、圧倒されました。キメックセンターでは、医療産業都市と言うことで、かの有名な理化学研究所や、スーパーコンピュータ「京」のある建物を目にすることができて、本当に有意義な時間となりました。将来の見込める医療という産業に投資をしたということが非常に勉強になりました。コンテナターミナルについては、私はあまり詳しくはないのですが、普通なら絶対得ることのできない情報にも触れることができて、特にコンテナターミナルの仕組みの部分にはとても興味が湧きました。ラヴィマーナでは、品のある雰囲気を感じながらカフェを楽しむだけでなく、いろいろな式場や披露宴会場を見ることができて、自分の将来について考えさせられる部分もあり、楽しい思い出となりました。神戸空港では、何の仕切りもない場所から飛行機を臨むことができたことにとっても感動しました。飛行機が何故飛べるのか正確にはわかっていないのだという話もあり、技術の結晶である飛行機がどこか神秘的なものにも思えました。また、空港専用の消防車両ということで、町中にある消防車とは全然違った作りで、空港だからその機能などが満載なところがとても面白く感じました。 |
| 6 | 4 | ポートアイランドには、先端産業が集積されているなあと感じました。そのような先端産業が集積したポートアイランドを視察し、日本の最先端に触れることができたため、満足度評価は満足4とさせていただきます。神戸医療産業都市では、阪神淡路大震災から復興する際に、超高齢社会に向けて発展が見込まれる健康福祉産業の振興を図った経緯を知り、現在では命を救う最先端医療の現場を感じることもできました。結婚式場の視察では海沿いで飛行機も見える景色のよい結婚式場なので、もしここで結婚式を開いたら、一生の思い出になると思えました。神戸空港では、飛行機を間近に見ることができたことがおもしろかったです。普段乗ることのできない消防車にも乗せていただいて、空港の安全を守るものに触れることが出来て光栄でした。 |

| | | |
|----|---|---|
| 7 | 5 | 神戸市という赤井ゼミで勉強している関係上港湾のイメージが強かったが科学技術やその他のインフラについても力を入れていることを実感した神戸ポートアイランドツアーでした。特に自分が印象に残ったのは医療都市です。自分は将来先進医療の普及などにかかわりたいと思っているので神戸市の医療都市のような組織がどのように運営され、そこで生まれたり発展した技術が広く患者に提供されるように普及されるためにどのような施策がとられているのかが気になったのでそのような詳しい話を伺ってみたいと思いました。また、神戸空港の視察については滑走路や緊急車両など、普段伊丹空港でバイトをしている僕も予想だにできなかった貴重な体験ができたので感銘を受けました。 |
| 8 | 5 | 神戸ポートアイランドツアーについては、運輸、医療という地域の強みを感じる事が出来ました。最初のキメックスセンターにおいては、理化学研究所という施設がその医療都市の形成に大きな影響を与えていることから施設の誘致などの重要性について感じる事ができました。また、コンテナターミナルでは普段は外から眺めるだけのコンテナ施設に入り、実務の方のお話を聞きことができ、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。最後に訪れた神戸空港においては、消防車など、空港における防災方法について考える機会もいただけ、勉強になりました。 |
| 9 | 5 | 神戸の医療都市視察では、神戸市がまさに力をいれて行おうとしている事業を間近にみる事ができてよかった。空輸によって運ばれることの多い医薬品であるが、その地域が神戸空港に近く、土地の利と壮大な土地に病院・医療関係会社などが密集しており、規模の利益を感じるころでもあった。次の場所であるコンテナ集積場では実際にコンテナの動きをまじかにみる事ができ、物流拠点としての神戸を感じる事ができた。結婚式場では、なんともいえない焦りを少し感じたことは否めない。最後の神戸空港では滑走路に入り、間近で飛行機が飛び立つのを見る事ができただけでなく、空港にある特殊消防車に乗ることもでき、貴重な体験ができたと感じている。 |
| 10 | 3 | コンテナターミナルは船に荷物を積む作業をいかに効率化するか、正確にするかが考えつくされており、自分の引越など荷積みと比べるととても合理的で興味深かった。ラヴィマーナは神戸からの車でのアクセスも良好な好立地であり、周辺から隔絶された空間を活かした非日常感を感じるにはよい式場と感じた。高級ホテルやリゾートに準じた会場として、中級層には受けるのではないかと。一方、ポートアイランド南部や神戸空港にある広大な空き地に行政主導の開発の難しさを感じた。これに加え、発着のそう多くない空港を見るに、山積みのコンテナや整備された客船ターミナルを擁する好調な神戸港に対比されて物寂しく感じた。関西の3空港に神戸空港をどう位置付け、どう活用していくか議論が待たれる。 |
| 11 | 5 | キメックスセンター：医療特区となり、新たな産業の軸として医療分野に力を入れている神戸市の取り組みを知ることができ、これからの神戸の形を考える事ができた。PC16：関西の物流の拠点の1つとして重要な役割を果たしている神戸港の機能を間近で見ることができて、貴重な体験だった。スムーズに作業を進めるため、職員の方々が普段からどのような努力をしているのかを知ることができた。ラヴィマーナ：結婚式場の中を見るのは初めてだったので、何気ないところにまで行き届いた従業員の方々の配慮を感じる事ができて、今後に向けて良い経験になった。神戸空港：普段入ることができないエリアに入れてもらい、消防車の中まで見学させていただき、事故を防ぐため、被害を最小限に抑えるためどのような設備があり、どのように日々お仕事されているかを知ることができ、非常に有意義だった。 |
| 12 | 4 | "印象的だったのは、コンテナの集荷場を生で見ることができた点です。規模感に終始圧倒されていました。午前の部でうっすらと船窓から見えた内航フィーダーが動いているところを近くで見ることができたのと、実際のコンテナ積み降ろしの指揮塔の中をのぞくことが出来たのも大変貴重な経験でした。日程的に週のうち最大規模のコンテナ船が来ているのが拝めなかったのが少しだけ心残りでしょうか。空港に敷設された消防隊の見学の際、空港の敷地内に足を踏み入れることができたのも(見学の主旨ではないですが)とても楽しかったです。" |

| 学生番号 | 今後、どのような体験企画をしてみたいですか？(3行以上) |
|------|---|
| 1 | 交通関係の施設(鉄道など)で貨物などをどのように運んでいるのかその仕組みを学びたい。または食品関連工場に行って、製造から販売までの流れがどのようになっているのかを知りたい。 |
| 2 | 鉄道車両の整備場見学 |
| 3 | 舞鶴のイージス艦 阪急の車庫 舞洲のごみ処理場 |
| 4 | インフラ系で鉄道などの交通網の裏側について学んでみたい。具体的な例はないが、日常生活とは密接に関わっているものの、普段は意識しないような場所の裏側について知ってみたい。加えて、イージス艦などの国防の施設を見学したいという思いもある。 |
| 5 | 普段はなかなか経験することができない貴重な体験、ということが非常に意味があつてためになることだと実感しているので、今思い浮かぶものとしては、公共サービスの施設や、工場などに行ってみたいです。また、どこかの企業にお邪魔させていただくことも、今後就職活動を行っていく身としては、とても参考になると考えます。 |
| 6 | 普段であれば学生や一般人が立ち入ることができないであろう施設の中へ入るような見学・体験がしてみたいです。自分が興味のあるところと言えば、鉄道に関するところです。車両基地や、電車の運行を管理・指示する中央指令室、新幹線のお医者さんとも言われるドクターイエロー、などに入ってみたいです。 |
| 7 | 神戸市は医療都市に力を入れているということなので医療都市の運営にかかわっている職員の方とお話してみたいです。先進医療をどのように普及まで持っていくのかなどの課程についてお話を伺いたいです。 |
| 8 | 大阪で計画されているウォーターフロント開発の見学を希望します。USJや誘致を検討しているカジノなどのエンターテインメント施設や港湾施設の見学を行いたいです。また、それとの比較を通じて神戸港の強み、また課題などについての議論も行えればと思います。 |
| 9 | たとえば、物流に絞り、ひとつのモノがどのように運ばれるか追っていくツアーなどを体験してみたい。例えば、港から陸に上がり、倉庫を経て、トラックを追跡し、どこかの工場に行くといったような類のツアーはおもしろそうです。 |
| 10 | 大阪湾フェニックス計画(最終処分地) 東京湾アクアライン非常用トンネル・風の塔視察 関電の黒部発電所 |
| 11 | 以前関西電力のコントロールセンターを訪問したので、次は発電所などを視察してみたいです。関西電力に訪問した際のお話で、水力をベースの電源としているというお話があつたので、特に水力発電所の設備を見学してみたいと思います。 |
| 12 | 神戸港周辺にある、川崎重工と三菱重工の、大手重工業会社横断工場見学がしたいです。もし可能なら潜水艦の見学もしたいです。潜水艦以外の製品過程見学でも大歓迎です。ご検討をお願いいたします |